理事長挨拶

社会福祉法人クオレは、昭和62年の作業所開設以来、横須賀市においてグループホームや就労継続支援B型事業所、地域活動支援センターを運営し、障がい者支援に邁進して参りました。しかしながら平成22年、前施設長による不正経理問題が発生し、クオレに対して横須賀市から改善命令が発せられました。多くの関係者並びに関係機関、そして利用者様とご家族様には深くお詫び申し上げます。

平成23年、私はこの負の遺産を引き継ぎ、再びクオレが障がい者の地域支援、共生社会の実現に貢献できるよう、運営に参画することとなりました。

私は、昭和 63 年から医療法人財団青山会福井記念病院の院長として精神疾患を持つ患者 さんの診療にあたってきました。かつて閉鎖的であった日本の精神科医療にあっても、福井 記念病院は極めて開放的な医療を行っていました。しかし、その障壁となっていたのが地域 における社会資源の不足であり、社会的入院を生む要因のひとつでもありました。

精神障がい者が地域で生活できるようになったのは、単に精神科医療の向上はもとより、 障がい者の個別支援の浸透や、クオレのような地域福祉サービスの充実に他なりません。

私には夢があります。この横須賀市において、精神障がい者が希望と生きがいをもって、 寄り添いながら安心して、暮らせる居場所を拡大していくことです。そこには24時間対応 可能な医療体制のバックアップが不可欠ですし、障がい者の自立と共生を実現する多様な 福祉サービスを整備する必要があります。当然、地域、行政の理解も必要となるでしょう。

新型コロナウィルス感染症の拡大により、今後も困難な状況は続きます。

クオレにおいては、パンデミックや災害下であっても、質の高いサービスの提供が求められます。各事業所とも運営体制を強化し、感染対策、法令順守、職員の資質向上のための職員教育を徹底して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人クオレ 理事長 高屋淳彦